

2. これまでの取り組み



(1) 「水都大阪」の再生に向けたこれまでの取組の概要

平成13年(2001)12月 第3次都市再生プロジェクト:「水都大阪」の再生

「都市再生プロジェクト」

目的 東京圏、大阪圏など大都市圏の再生

構成等 関係省庁、地方公共団体、関係民間主体

内容 リーディングプロジェクトの第3次に選定されたプロジェクトにおいて、大阪圏の取り組みとして『「水都大阪」の再生』が採択

『「水都大阪」の再生』の取組内容

水循環系の河川の再生として、都心部の河川について沿川のみちづくりと一体となった再生構想を策定するとともに、このうち先行的に道頓堀川の環境整備を推進する。

平成15年(2003)3月

「水の都大阪再生構想～輝け水の都大阪」

(水の都大阪再生協議会 会長:大阪商工会議所会頭)

コンセプト

輝け 水の都大阪～『時を感じる水の回廊づくり』の推進

ハード中心

取組方針

- ① 美しい水辺のまちをつくる
- ② 心に響く水辺の賑わいをつくる
- ③ 水辺をネットワークし魅力を高める
- ④ やすらぎの水環境をつくる

平成15年(2003)3月

「大阪 花と緑・光と水のまちづくり」

(花と緑・光と水懇話会 座長:大阪市長)

コンセプト

四季折々の花と緑あふれ、美しい光に彩られる水の都

ソフト中心

取組方針

- ① 都心集積の再構築による大阪の再生
- ② ビジターを視野に入れたまちづくり
- ③ 個性あるまちづくり
- ④ 「花と緑・光と水」のまちづくり

水辺
のまちづくり

シンボルイベント
(水都大阪2009)

光
のまちづくり

水都大阪の再生をめざす取り組み

(2) 水辺のまちづくりの取組成果(例)

1. 公共空間整備

○道頓堀、中之島公園、八軒家浜、船着場などの都市基盤の整備



2. 民間事業の展開

○川床など、新たな水辺景観モデルの創出



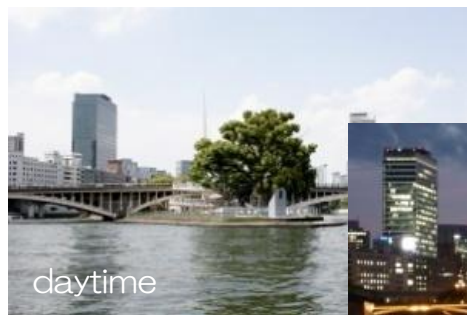
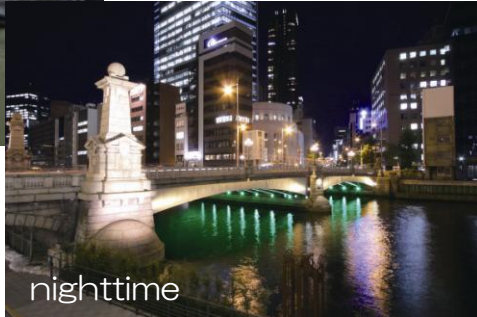
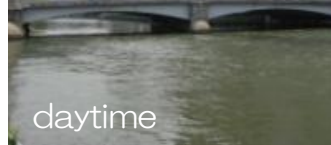
(2) 水辺のまちづくりの取組成果(例)

3. 水辺の夜間景観の創出

○ライトアップなどによる、都心ならではの昼と夜の風景の創出



《難波橋》



《天神橋》



4. 情報発信

《大阪ブランドコミッティ》

水都の魅力のとりまとめと情報発信



《水都大阪2009》

「水都大阪」の取り組みに対する認知度の向上



《上海万博》

「環境先進都市・水都大阪」のPR

環境先進都市 大阪上河図

中国人来館者に基本テーマ「環境先進都市・水都大阪の挑戦」を強烈に印象づけるため、中国人の誰もが知るといわれる傑作図巻「清明上河図」をモチーフとした空間をデザインした。

■ 展示空間の構成

大阪の四季にのせて、水都大阪を演出

過去・現在・未来の水都大阪を表現

水都大阪を立体的・直感的に表現



(2) 水辺のまちづくりの取組成果(例)

5. 水都の新たな担い手の発掘



地域による魅力再発見「川舞台」

6. 水辺における賑わい空間の形成



夜景を楽しむ「クルーズ」

7. 新たなビジネスモデルの創出



着地型観光商品「OSAKA旅∞」



船着場でのライブ「ジャズボート」



新しい水辺の楽しみ方「水上さんぽ」



規制緩和を活用した「川床」

(3) 光のまちづくりの取組成果(例)

「大阪光のまちづくり2020構想(第1稿)」

光のまちづくり企画推進委員会において、平成16年(2004)に「グランドデザイン」を策定し、大阪・光のまちづくりにおける基本的な考え方(光の都市軸、光の暦、光百景)をとりまとめた。

さらに、水都大阪2009の成果等を受け、平成22年(2010)に「大阪光のまちづくり2020構想(第1稿)」として改訂を行った。

今後、成案となった「水と光のまちづくり構想」をもとに見直しを行い、さらに光のまちづくりを推進する。

水の都・大阪 + 光の都・大阪

国内外へ発信する「大阪ならではの」光のまちづくりをめざして

●光の暦

- 四季の特徴を活かした個性あるイベントを継続的に展開
- 経済的・効率的なイベントのためのインフラ整備への取り組み
- 光の都市軸への波及スキーム構築(イベントを活用した実験的試み)

●具現化のための施策(全体)

- 光のまちづくり企画推進委員会が関係者間の調整役、相談窓口となる
- 調和のとれた光環境整備の実現のため、情報交換会の定期開催
- 照明技術の最新動向などについての勉強会



●光の都市軸

- 「光の東西軸」「光の南北軸」「光の回廊」に加え、面的な広がりを「光の庭」として展開を拡大(例: 船場近代建築ライトアップなど)
- 都市開発や再生事業等において光を大阪の個性とするための緩やかな「参考技術指針」の策定
- 「水都大阪夢ビジョン」、「海の御堂筋」構想等と連動したエリアの拡大

●光百景

- 施設管理者や民間開発者に対する「光のまちづくり」の理解促進を図るための情報発信の強化
- 国内外への情報発信(プロモーション)の継続、拡大
- 情報集約機能の充実

投資効果の高いシティプロモーションとして『光のまちづくり』を推進

新たな取り組みのための視点

戦略的・計画的促進

一体感の醸成とストーリーの構築

市民協働

景観施策との連携

投資効果の検証

光環境の改善

期待される効果

①経済効果の促進

②都市再生のためのブランドカアップ

③都市活性化の促進

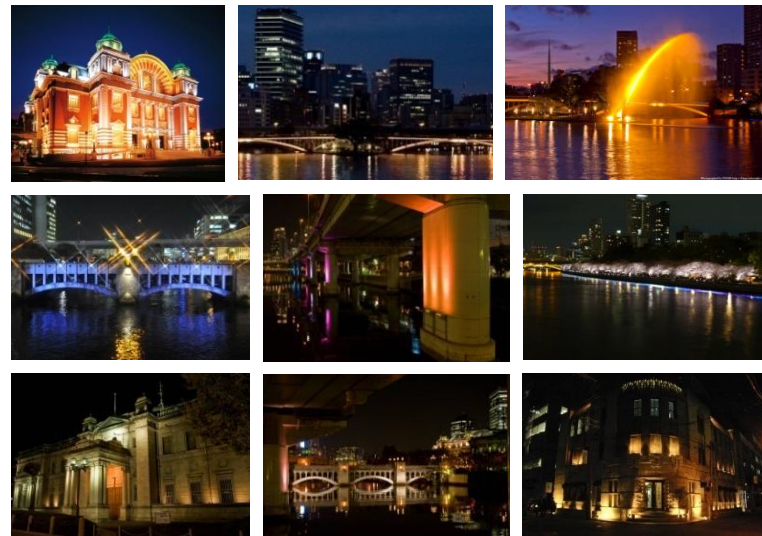
④滞在型観光の増大

⑤新たな資産と誇りの創出

(3) 光のまちづくりの取組成果(例)

「光の都市軸」

中之島エリアを中心としたインフラとしての都市照明の整備推進



「光の暦」

① OSAKA光のルネサンス

OSAKA光のルネサンスは平成15年(2003)より開催し年々拡大。単なるイベントではなく周辺の民間企業のライトアップを誘発し、かつ経済効果を拡大すべく光のまちづくりの活動の牽引役として成長。

ウォールパーストリー (中之島図書館)



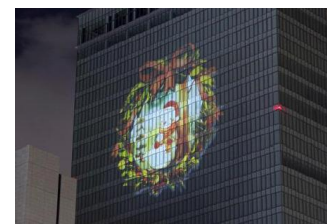
御堂筋イルミネーション



中之島界隈ライトアップ



③ その他(例)



梅田地区
スノーマン
フェスティバル

② 御堂筋イルミネーション

大阪のシンボルである御堂筋のイチョウをイルミネーションで装飾し、大阪を愛する人々が元気や希望を感じられ、惹きつけられる賑わいをつくる。

大阪城・
城灯りの景



(3) 光のまちづくりの取組成果(例)

「光百景」

①光百景アワード写真コンテスト

○「光百景アワード」(夜景写真コンテスト)

「100枚の光の絵はがき」を活用し、美しい大阪の夜景のプロモーションを実施

- ・市民のこだわりの夜景ビューポイント
- ・魅力ある光のネットワーク形成
- ・「光の語り部」としての大阪あかりの文化

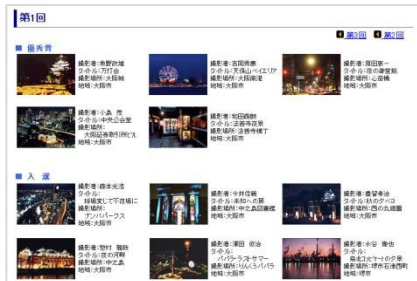


②Webによる情報発信

○「光のまちづくりホームページ」による情報発信



「光のまちづくり」ホームページ
<http://www.osaka-hikari.com/>



「100枚の光の絵はがき」のダウンロード画面

③国内外への情報発信及び調査

○海外事例調査

光のまちづくり企画推進委員会にて、トリノ、リヨン、ベルリンの「光のまちづくり」の事例調査(平成16年12月)

○プロモーション部会としての活動を開始。(平成19年6月～)

- ・JR大阪駅、大阪市役所にて、100枚の写真展示。(平成19年12月)
- ・JR大阪駅にて光のルネサンス2008、堂島川ライトアップPR(平成20年12月)

○水都大阪2009に合わせて実施された水の回廊でのライトアップの共同プレスリリース実施(平成21年8月)

○第1回日本夜景サミットにて

「大阪光のまちづくり」について講演(平成21年10月)

○関西他都市との光のまちづくり情報交換会の開催(平成21年11月)

○LUCI(光景観創造国際ネットワーク)へ加入(平成21年3月)

- ・Web、ニュースレター等で「大阪光のまちづくり」をPR
- ・韓国光州での年次大会で「大阪光のまちづくり」について講演(平成21年10月)

○フランス・シャルトル『光の饗宴』にて大阪の光を紹介(平成21年9月)



第1回日本夜景サミット
 平成21年10月9日
 (六本木ヒルズ)



2009LUCI年次大会
 平成21年10月19日(韓国光州)



大阪の光を紹介
 平成21年9月(仏シャルトル市)

○『光の景観まちづくり』出版(平成18年12月)

日本国内外の「光のまちづくり」の事例及び光のまちづくり企画推進委員会が取り組む大阪での「光のまちづくり」について紹介。

『光の景観まちづくり』出版
 平成18年12月



(4) 水と光のまちづくりの相乗効果(例)

[水と光のまちづくりの相乗効果]
○水辺のまちづくりと光のまちづくりが相乗効果を発揮しながら、互いの取り組みを拡大

水辺のまちづくり

光のまちづくり



水と光の相乗効果
(水辺にうつる光)



噴水のライトアップ
(剣先公園)



水辺のライトアップと舟運
(大川)



橋梁のライトアップ
(なにわ橋)



橋梁のライトアップ
(戎橋)

